

## H30. 6. 26 健康・福祉部会 議事概要

※枠内は委員意見、枠外は区役所職員

日時場所 平成30年6月26日(火)午後7時～9時 東淀川区役所3階304会議室

出席者 健康・福祉部会委員5名、府議會議員1名

### 議題1 平成29年度東淀川区運営方針自己評価

- ・送付資料2・3に基づき説明

### 議題2 今後の取組みの方向性について

- ・送付資料4・5・6に基づき説明
- ・「東淀川区がめざす新たな『いきいき百歳体操の場』」についてプレゼンテーション(当日配付資料2)

### ワークショップ

- ・「29年度運営方針自己評価に基づいた課題について」
- ・「今後の取組みの方向性」

#### (29年度自己評価に基づいた課題について)

○先日の震災時の対応に要支援者のリストが活かされたか検証し、今後の課題として対応策を検討していただきたい。

- ・要支援者への連絡について今回の震災の対応の課題として認識しており、今後対応策を検討していく。

#### (新しい百歳体操について)

○現在実施している百歳体操も良い取組であるが、新しい百歳体操はさらに素晴らしい取組であると思うので積極的に進めてもらいたい。

○この取組は、介護予防・認知症予防という観点からも有用な取組である。

○運営場所の狭さや段差の存在などハード面の問題がある。また、専門的な資格を持たないボランティアで実施しているので、体の不自由な方が来られた時などに介助に戸惑うことが想定されるため、例えば地域包括支援センターの職員などの専門家のサポートがあればありがたい。

○サポーター養成講座に、体操の手技・手法だけでなく、安全に継続していけるように運営のノウハウについての内容も取り入れてほしい。

○取組を進めていくにあたり、保険加入も検討するべきではないか。

○本日の資料について、例えば障がい認定を受けている人が多いことが東淀川区の弱みともとれるような表現がされていたが、むしろ制度が浸透しているという点で強みであるという見方もできるため、表現を変更した方がいいのではないか。

- ・安全、安心に実施するために専門家によるサポート体制やハード面の問題について、地域の方の力を頂きながら、地域事情を踏まえながら取り組んでまいりたい。
- ・この取組を進めるうえで、保険等、運営上のリスク管理について考えていきたい。
- ・資料について、だれが見てもわかりやすい表現に変更していきたい。

#### (議員からの助言)

- ・今回の震災で、働いている世代の子供の安否確認に手間取ったことも盲点として認識している。
- ・大阪府は、高齢者だけでなく多様な世代が住み慣れた地域で住みやすく魅力あるまちにしていこうという視点で「スマートエイジング・シティ」という取組を進めており、東淀川区ではよどまちステーションをモデル拠点として環境を作っていこうとしている。